

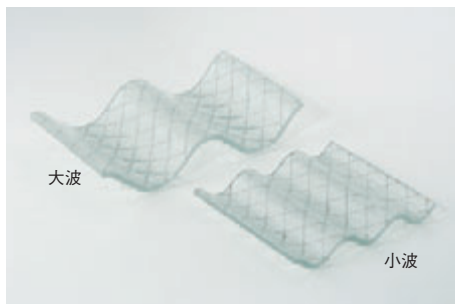
## ワイヤーウエーブライト®

品種表 P.251



製品のご採用にあたっては、「ガラスを安全に、大切にお使いいただくために」、各製品ごとの「設計上のご注意」、「施工上のご注意」等を十分にご理解のうえ、製品の選定、施工法をご検討ください。

ワイヤーウエーブライトはワイヤーネットを入れたガラスを波型にモールド成形したものです。採光性に優れ、しかも波型なので剛性が大きいところから、広い空間をもった工場、倉庫、体育館、鉄道駅舎、アーケードの屋根、天窗、壁用などに用いられています。波型には大波と小波の2種類があります。



### ●特長

#### 1 防火性

火災時に破損しても金網がガラスの脱落を防ぎ火災の侵入を防ぎます。そのため火災保険では建築物機械設備などのいずれにも低廉な料率が適用されます。

#### ●防火設備

指定 平成12年建設省告示第1360号

#### ●30分耐火の屋根

指定 平成12年建設省告示第1399号第5

#### 2 安全性

波型なので剛性が高く丈夫です。また、万一破損しても破片の飛散・脱落がほとんどありません。

#### 3 経済性

外枠や棧が不必要なため経済的です。

#### 4 意匠性

意匠性を高めるためガラスをピース金物で支持し、ガラス目地は突き合わせシール目地とすることもできます。詳しくはお問い合わせください。

### ●用途

1 工場、倉庫、体育館、鉄道車庫などの屋根天窗、外壁、下見、間仕切、腰板。

2 住宅のテラス、アーケード。

### ●ご注意

1 波型なので剛性が大きい反面、たわみ・ねじれ・集中応力などで破損する場合があります。支持材となる胴縁、母屋などには負荷時のたわみの少ない部材を用い寸法精度よく取り付けてください。

2 屋根に使用する場合はより剛性の高い大波を用いください。また積雪区域では雪の荷重を配慮した耐積雪施工法が必要です。特に積雪1m以上の多雪地区では積雪による破損のおそれがありますので、事前にお問い合わせください。

3 ワイヤーウエーブライトの標準施工法は別途、製品カタログをご参照ください。

### ●工法の種類

施工方法	乾・湿式	ガラスタイプ	ガラスサイズ (mm)	母屋・胴縁 (mm)	備考
屋根標準工法 (平葺き)	乾式	大波	6尺 1820×770 7尺 2120×770	835 985	標準
壁標準工法 (平葺き)	乾式	小波 (大波)	6尺 1820×750 (770) 7尺 2120×750 (770)	835 985	標準
壁標準工法 (重ね葺き)	乾式	小波	6尺 1820×720 7尺 2120×720	835 985	標準

### ●品種表

品種	小波ワイヤーウエーブライト				大波ワイヤーウエーブライト		
	平葺き用		重ね葺き用		平葺き用		
施工法	平葺き用		重ね葺き用		平葺き用		
長さ×幅	mm	1,820×750	2,120×750	1,820×720	2,120×720	1,820×770	2,120×770
有効幅 (心々幅)	mm	760	760	630	630	780	780
重量	kgf	約21	約25	約20	約24	約25	約29
1枚当り有効面積	m <sup>2</sup>	1.36	1.59	1.14	1.33	1.40	1.63
山数		12山	12山	11山半	11山半	6山 (5山両上り)	6山 (5山両上り)
標準の厚さ	ミリ	約6	約6	約6	約6	約7	約7
波幅	mm	63.5±1.0	63.5±1.0	63.5±1.0	63.5±1.0	130±1.0	130±1.0
谷の深さ	mm	14以上	14以上	14以上	14以上	35以上	35以上
母屋間隔	mm	835±20	985±20	835±20	985±20	835±20	985±20



●富山県西部体育センター  
設計: 東畑建築事務所  
施工: 佐藤・砺波・市塚JV

切妻屋根▲▶



ご使用にあたっては、耐風圧強度、熱割れなどをご検討のうえ、ガラス品種・呼び厚さ・面積を選定ください。

真空ガラス  
 複層ガラス  
 学校用ガラス  
 防火ガラス  
 防犯ガラス  
 強化・倍強度  
 ガラス  
 合わせガラス  
 特殊機能ガラス  
 高透過ガラス  
 熱吸・熱線反射  
 板ガラス  
 装飾ガラス  
 鏡・カッターガラス  
 板ガラス応用製品及び施工法  
 シールド工事  
 設計・施工・使用上のご注意  
 板ガラスの光学的性能・熱的性能  
 製品一覧



●成城コルティ（小田急成城学園前駅ビル）  
 設計：坂倉建築研究所・小田急建設JV（東京）

